

検討経過と今後の予定

「フムフムあかつかProject」では、令和5・6年度の2年をかけて地区の景観まちづくりについて勉強会等で意見交換を行い、地区の景観の魅力や課題、ルールについて考えました。今後は勉強会で話し合った内容やアンケート調査の結果をふまえ景観まちづくりプランとして取りまとめを行います。

令和5年度

令和6年度

ワクワク1	「歴史写真パネルの展示&あかつか景観クイズ」8月6日(日)開催 地域の歴史や景観を楽しみながら学ぶパネル展示とクイズを実施しました。
第1回	「赤塚地区のまちあるき」10月29日(日)開催 赤塚地区のまちを講師と歩き、歴史・地形・みどりなどの赤塚の魅力を楽しみながら勉強しました。(ニュース vol.3 で紹介)
ワクワク2	「赤塚スタンプラリー」11月17日(金)～11月26日(日)開催 地域の景観を味わえるポイントをめぐるデジタルスタンプラリーを開催しました。
第2回	「地区を深める」12月5日(火)19時～ 場所:下赤塚地域センター 赤塚地区の魅力的なスポットや街並みについて話し合い、赤塚地区の理想の姿について考えました。(ニュース vol.4 で紹介)
第1回アンケート (1月下旬～2月中旬) (ニュース vol.4 で紹介)	
第3回	「地区の将来を考える」3月6日(水)19時～ 場所:下赤塚地域センター 赤塚地区の特徴を活かした、敷地と建物のデザインシミュレーションワークを行いました。(ニュース vol.4 で紹介)
第4回	「地区の景観を調査する」6月15日(土)13時半～ 場所:下赤塚地域センター 色彩とみどりの2つのテーマに基づき、地区の状況をまちあるき調査しました。(ニュース vol.5 で紹介)
第5回	「地区の景観の魅力を引き出す」8月6日(火)19時～ 場所:下赤塚地域センター 3Dのパノラマビューを使って、崖線からの見晴らしのよい風景や崖線を見上げた際の風景の魅力や活用策について考えました。(p.2 で紹介)
第6回	「地区の景観ルールを考える」9月26日(木)19時～ 場所:下赤塚地域センター 3D ツールを使って、地域の魅力を引き立てる建物・敷地のデザインを考え、地区にふさわしい景観ルールを話し合いました。(p.2-3 で紹介)
ワクワク3	AR ツールを使ったまちあるきイベント 10月20日(日)開催 勉強会で話し合った地域の景観モデル等を AR で見るまちあるきを実施しました。
第2回アンケート (実施予定)	
第7回	「景観まちづくりプランとりまとめワークショップ(※フムフム最終回)」 (12月上旬開催予定)
ワクワク4	景観まちづくりプランお披露目会(同時開催:子どもも大人も楽しめる園芸・みどりのワークショップ)(2月ごろ実施予定)

検討経過

今後の予定

景観まちづくりプランのお披露目会の参加者を募集します。

地区の景観の魅力や課題、ルールについて示した「景観まちづくりプラン」のお披露目会の実施を予定しています。お披露目会にあたっては景観まちづくりの取り組みの一つとして園芸やみどりの魅力を知るワークショップを開催します。お子さま連れでの参加も大歓迎です！詳細は後日、回覧板や掲示板等でお知らせします。

赤塚四・五丁目地区 景観まちづくりニュース

Nov
2024

Vol.

6

地区の特徴を活かした
景観まちづくりのルール
について考えました！



板橋区は、赤塚四・五丁目地区の皆さんと一緒に、地区の景観資源を生かした「景観まちづくり」に取り組んでいきます。

坂道や崖線など地形の起伏が大きい赤塚四・五丁目地区で、景観のまちづくりの取り組みやルールを考えるために3D ツールを活用し、勉強会を行いました。

地区の眺望について意見交換した第5回と、地区の景観のルールについて意見交換した第6回の詳細についてはP2～P3をご覧ください。



第5回勉強会の様子



第6回勉強会の様子

景観まちづくりプランとは？

赤塚四・五丁目地区の景観が将来こうなってほしい！という地区の皆さんの思いを形にし、実行していくための計画です。

今後は、勉強会での話し合いの結果やアンケート調査結果をもとに景観まちづくりプランとして取りまとめていきます。

お知らせ

景観まちづくりプランについて意見・感想をお聞きするアンケートを実施しています。ご回答のほどよろしくお願いいたします。



【プランの内容】

- 地区の景観の魅力や課題
- 景観のまちづくりの方向性
- 具体化するための方法

具体化するための方法として建物の形や色、みどりの配置などの「景観のルール」について示します。

板橋区の景観まちづくりに関する問い合わせ先

板橋区 都市整備部 都市計画課 都市景観係
tel.03-3579-2549 (直通) fax.03-3579-5436
email:t-keikan@city.itabashi.tokyo.jp



景観まちづくりの方向性とルールについて話し合いました！

第 5 回「赤塚崖線上から見るか？下から見るか？～眺望の魅力について～」

地形の起伏に富んだまちなみを3D ツールで体感！

3D ツールを活用して崖線を俯瞰したり、崖線からのパノラマの眺望や崖線を下から見上げた際の眺望を体験しました。

地区の南側から俯瞰すると、地形の起伏がよくわかります。赤塚氷川神社は台地の上に建ち、かつては富士山が望めました。



参加者の意見

崖線からの見晴らしがよい。他地域の人にも知ってほしい！

崖線を登ったところにベンチがあると見晴らしを楽しみながら休憩できる。



崖線のまち・坂のまちとしてアピールしたい！

崖線の緑を丁寧に維持管理して景観の魅力を高めたい。



景観まちづくりプランへの反映

崖線からの見晴らす眺望を活かした景観ルール

崖線の緑を見上げる眺望を活かした景観ルール

第 6 回「3D ツールをつかって、地区にふさわしい景観のルールを考えよう！」

赤塚四・五丁目地区の中でも特徴的な景観を有している、「崖線上のまちなみ」と「斜面地のまちなみ」を対象に、3D ツールをつかって様々なまちなみを再現し、どのような建物の色や形が良いか、緑はどのように植えたら良いかといった、地区にふさわしい景観のルールについて意見交換を行いました。

崖線上のまちなみ



斜面地のまちなみ



崖線上のまちなみにふさわしい建物デザインについて考えよう！

崖線下や、前面の通りから見られることに配慮し、崖線の緑や周辺のまちなみに調和する建物の色や形、規模・高さ、外構の緑化等について話し合いました。

参加者の意見



派手な色だと崖線の緑が目がいけない・・・



長大な壁面が生じたり、隙間なく戸建が並ぶと圧迫感を感じる・・・



住宅地は落ち着いた色が良い



使って良い色はルールがあればよいが、細かく決めすぎない方がよいのでは？

→ 景観ルールのアイデア例

- ・崖線の緑と調和する色彩にする。
- ・長大な壁面は避ける。 等

斜面地のまちなみにふさわしい建物デザインについて考えよう！

斜面地の敷地に生じる“よう壁”について、前面の通りから見られることに配慮し、周辺のまちなみに調和するよう壁の素材や表面仕上げ、外構の緑化について話し合いました。

参加者の意見



見栄えは石積が良いが、値段が高い・・・



コンクリートは経年で汚れてくる！

コンクリートよう壁や駐車場は緑で隠すと圧迫感は軽減されて良い！



前面緑アリ



前面緑ナシ

→ 景観ルールのアイデア例

- ・地域の歴史文化と調和する素材を用いる。
- ・擁壁は緑化する。 等

勉強会で使用した「崖線上」「斜面地」の3D モデルはこちらからご覧ください！

崖線上



斜面地



AR ツールを使ったまちあるきイベントを開催しました！



↑勉強会で使った 3D モデルを、AR ツールを使って、実際にまちなかで見てみました！